

鋭く迫る！ 一般質問

町政全般にわたり、議員が町の考えを聞くのが一般質問です。3月定例会では9人の議員が登壇し、町政をたどりました。議会だよりでは、質問と答弁の要旨をお伝えしています。全文記録(会議録)は、5月末に町ホームページに掲載予定です。

一般質問 目次

質問項目	質問者	ページ
新型コロナウイルス対策		
コロナ禍で苦しむひとり親世帯等への支援は	久保 留美子	16
プレミアム付商品券の実施を求む	石内 國雄	17
コロナ感染対策への町の方針は	小林 一幸	18
コロナ対策の子育て支援は	備前島 久仁子	19
予防的なPCR検査の実施を	宇津木 治宣	20
まちづくり		
観光振興・地域づくりの取組は	小林 一幸	18
首都圏からの移住者受入れは	備前島 久仁子	19
福祉		
フードバンクへの取組は	新井 賢次	15
障害者施策の周知を	小林 一幸	18
子育て・教育文化		
保育料・副食費の減免対象拡大を	浅見 武志	13
福島にあるれんが造りの水門の歴史的価値は	月田 均	14
歴史的建造物を次世代にどうつなぐか	新井 賢次	15
不登校を生まない取組は	久保 留美子	16
予算・財政		
新年度予算における財政見込みは	浅見 武志	13
時代に合わない事業の削減や見直しは	備前島 久仁子	19
住民要望に対するきめ細かな予算確保を	宇津木 治宣	20
少子化による財政逼迫への対策は	柳 沢 浩一	21
その他		
どうする プラスチックごみ	月田 均	14
職員提案制度の取組は	月田 均	14
社会体育館の長寿命化改修工事について	石内 國雄	17
現金紛失事件のその後について	石内 國雄	17

新年度予算における 財政見込みは



浅見 武志



町長

税込3.5%減も、基金で 財源確保

質問 町は新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた新しい生活様式への転換や経済活動の回復に力を入れなければならぬ。しかし、コロナ禍での雇用・所得の減少等により、町税全体では減少すると見られ、財政的に厳しい中での予算編成となる。税収見込みはどのように考えているのか。また、町所有の資産売却を進め、財源を確保する考えはあるのか。

答弁 町長 令和3年度の町税の減少や減免措置などから、ほとんどの税目で減収を見込んでおり、町税全体では、前年対比で3・5%のマイナスとなっている。町所有の資産売却については、未利用、未使用となった土地・建物・工作物・物品等の公有財産は利用計画を確認しつつ、適切に売却を行っている。

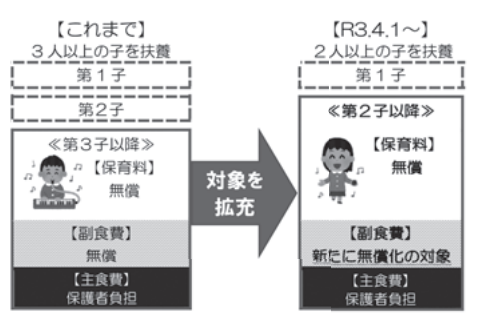
質問 令和3年度の財政調整基金の取り崩し額及び残高は。

答弁 町長 取り崩し額は、不足する財源の確保として7億円を計上した。令和3年度末の残高については、7億円の取り崩しと2年度決算の剰余金を約2億円と想定して、11億8400万円程度と見込んでいる。

保育料・副食費の減免対象拡大を

質問 子育て支援として、副食費・保育料を減免することには賛成であるが、第2子以降無償化ではなく、第1子以降全ての子供の副食費・保育料を半額にするほうが平等だと思いが。

答弁 町長 全国調査による理由が最も多く、理想的子供数を2人以上としている夫婦では、



さらに経済的理由の割合が高くなっていく。本町においても第2子以降の出産をためらう世帯が相当数想定されることから、今後の子育て支援策として、第2子の保育料及び副食費に対する経済的支援が重要と考えた。本事業により、安心して子供を産み、育てられる環境整備の推進を図り、少子化対策へもつなげていきたいと考えている。

こんな質問もしています

・防犯カメラ・ドライブレコーダーの設置状況について